

平成 30 年度学園祭体育部門開会式挨拶

本日は大変良い天気にも恵まれました。地域の皆様、保護者の皆様、ようこそおいで下さいました。昨日に引き続き附中生の日頃の研鑽の成果をゆっくりとご堪能いただければと思います。

さて、生徒諸君。昨日、私は「ともに」について考えることは「人間を学ぶ」ことであり、人間とは、身体的自然的存在であると「ともに」精神的言語的存在である、と申しました。覚えていますか。

もともと「ともに」ということは言葉以前の事柄です。ですが人間は言葉を通じてしか考えることができなくなってしまった。それで人間は孤独を抱えるのです。ですが身体は覚えている。だからどこまでも求める。それでそれを言葉で表現しようとする、不思議な表現になります。それを紹介しようと思います。

「ともに」を忘れたところに「ともに」が実現するということです。「ともに」を忘れるほどにプレイに集中し、一体となる。ここに「ともに」が実現します。それを少しでも意識したら離れてしまう。

「ともに」を忘れたところに「ともに」が実現する、これは「A は A でなくなることに
いて A として完成する」ということです。これは大乘仏教の「空」の論理です。復唱してみよう。「ともに」を忘れたところに「ともに」が完成する。

生徒：「ともに」を忘れたところに「ともに」が完成する。

これを今日の目標にして欲しい。健闘を祈る。終わります。